

開催場所  
札幌キャンパス

※「アゴラ」とはギリシア語で、古代ギリシアの都市国家にあった公共の「広場」という意味です

第24回 北海道教育大学 エデュケーション・アゴラ

# Education AGORA

教職に対する情熱や使命感を高め、幅広い視野を持つために、教員を目指す方や現場の教員が、大学教員、教育行政担当者等と直接膝を交えて意見交換をする場です。是非ご参加ください。

## 省察的実践家として教師の道を歩むみなさんへ ～ 学校現場や大学院における学び直しとは～

日時：平成26年12月10日(水) 16:30～18:30

場所：北海道教育大学 札幌校事務局 第1・2会議室  
(札幌市北区あいの里5条3丁目1番5号)

対象：教員志望者、現職教員

申込：ホームページ(<https://www.hokkyodai.ac.jp/mail/2.html>)

またはQRコードよりお申込みください

※定員になり次第、締め切らせていただきます

問合せ：北海道教育大学 札幌駅前サテライト hue pocket

Tel: 011-211-4100 E-mail: hue-po@j.hokkyodai.ac.jp

主催：北海道教育大学

協力：北海道教育委員会

ゲスト：宮原 順寛

北海道教育大学大学院 教育学研究科 学校臨床心理専攻 准教授  
専門領域：教育方法学（授業研究）

長崎県や北海道の小中学校を中心に、授業参観とその検討会に関するフィールドワークを繰り返しながら、省察的実践家としての教師の専門性と同僚性を高める校内研修の在り方について研究しています。

今回のエデュケーション・アゴラは、これから教壇に立つ学生を主たる受講者層とした特別企画です。とは言え、「どのように教職専門性を高めていくか」ということを考えたい方はもちろん、教育に関心のある方であれば、どなたでも参加を歓迎します。

教師を取り巻く困難は、子どものこと、同僚のこと、保護者のことなど様々です。学部4年生に今知りたいことについて聞くと、「来年4月の学級開きに何を語ればいいのか」といった質問が返ってきました。なるほど、具体的な検討課題が見据えられていることはとても頼もしいことです。しかし、長い教師人生のなかで「困難の中の希望」を見つけ出すためには、学校現場や民間教育サークルや大学院での学び直しについて知っておくことが肝要です。ライフコースを見通した教師自身の学びのデザインについて一緒に考えてみませんか。

